人と夢をつなぐクリーンテクノロジー

KOGANEI

http://www.koganei.co.jp

Catalog No.E4046

NEW Products

iB Series

iB-Cyclone

アイビー　サイクロン

PAT. PEND.

高速サイクロン方式の水分分離器登場！

水分分離のイメージ

RoHS指令対応製品

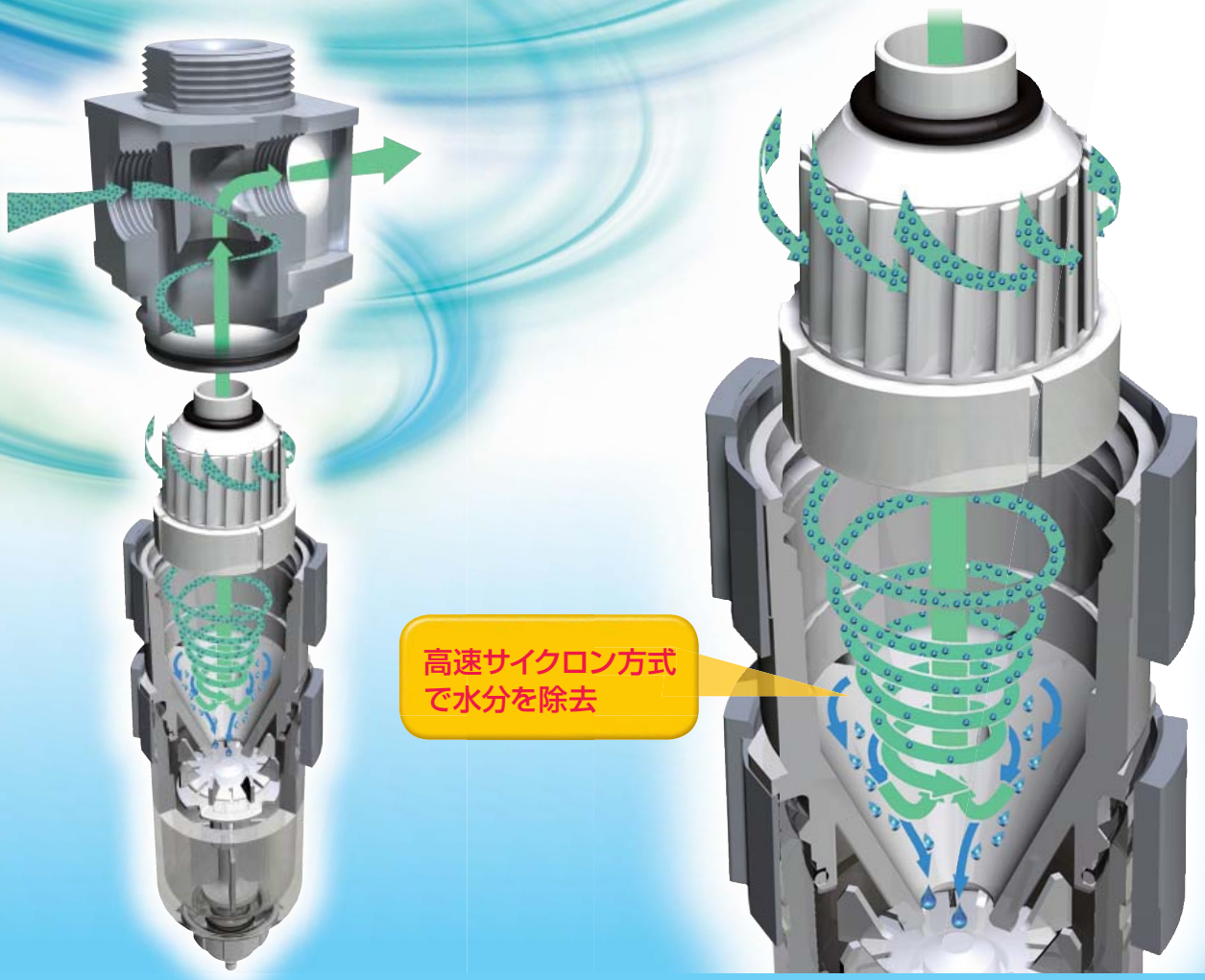
iB Series

高速サイクロン方式の水分分離器登場！

iB-Cyclone

アイビー　サイクロン

PAT. PEND.



優れた水分分離性能

同等の機器に比べ、体積比1/2、水分分離率99%[注]以上。

注：弊社測定基準による。

サイクロン方式

遠心分離のノウハウを突き詰めた、**高速サイクロン方式**の水分分離器（特許出願中）。

メンテナンス性向上

エレメント不使用によるメンテナンスフリーを実現。
オートドレン式はNOタイプ、NCタイプを選択可能。

幅広い流量域

幅広い流量域で、水分分離性能を発揮します。

幅広い使用環境に対応

耐オゾン仕様、NCU仕様（銅系材質不使用）標準対応。

⚠ 注意 ご使用になる前に❺ページの「取扱い要領と注意事項」を必ずお読みください。

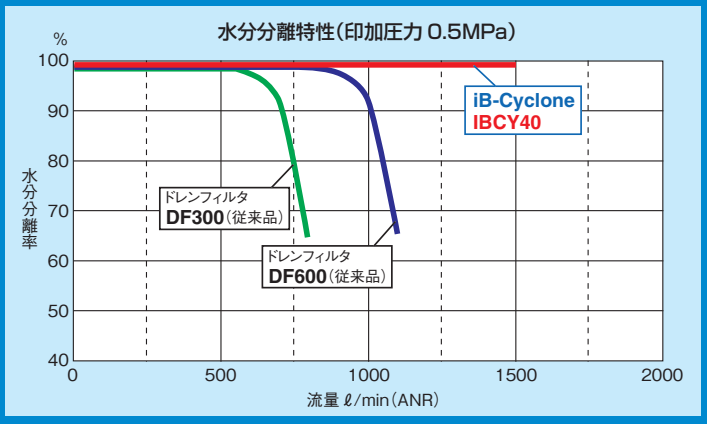
⚠注意 ご使用になる前に❸ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

ユーザー様の課題

●配管内の水分が取りきれなくて困っている
●エレメントの交換などメンテナンスに苦労している

コガネイはユーザー様の課題をiB-Cycloneで解決し、新たな価値をご提供します。

iB-Cycloneは、高速サイクロン方式により、流量が増加しても水分の分離率が落ちません。
小流量域から大流量域まで、安定した分離性能を発揮します。

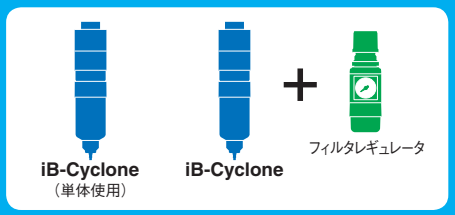


※弊社製ドレンフィルタとの水分分離比較(参考)。

iB-Cycloneの使用例

- 各サブライン配管内の水分除去、装置毎の水分除去
- フィルタ、レギュレータの一次側の水分除去
- 膜式エアドライヤへの供給エアの前処理
- 装置末端での水分除去

※必ず油分・固形物を取り除いたエアで使用してください。



バリエーション・オプション

IBCY30

IBCY40

IBCY50

オートドレン式
NO (ノーマルオープン)
NC (ノーマルクローズ)

継手付ドレンコック

ブラケット
8Z-CBK

安全上のご注意（iB-Cyclone）

ご使用になる前に必ずお読みください。

機種の選定および当該製品のご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
以下に示す注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
ISO4414（Pneumatic fluid power - General rules and safety requirements for systems and their components）、
JIS B 8370（空気圧システム通則）およびその他の安全規則と併せて必ず守ってください。

指示事項は危険度、障害度により「危 険」、「警 告」、「注 意」、「お願い」に区分けしています。

⚠危 険	明らかに危険が予見される場合を表わします。 表示された危険を回避しないと、死亡もしくは重傷を負う可能性があります。 または財産の損傷、損壊の可能性があります。
⚠警 告	直ちに危険が存在するわけではないが、状況によって危険となる場合を表わします。 表示された危険を回避しないと、死亡もしくは重傷を負う可能性があります。 または財産の損傷、損壊の可能性があります。
⚠注 意	直ちに危険が存在するわけではないが、状況によって危険となる場合を表わします。 表示された危険を回避しないと、軽度もしくは中程度の傷を負う可能性があります。 または財産の損傷、損壊の可能性があります。
⚠お願い	負傷する等の可能性はないが、当該製品を適切に使用するために守っていただきたい内容です。

■当該製品は、一般産業機械用部品として、設計、製造されたものです。

■機器の選定および取扱いにあたっては、システム設計者または担当者等十分な知識と経験を持った人が必ず「安全上の注意」、「カタログ」、「取扱説明書」等を読んだ後に取扱ってください。取扱いを誤ると危険です。

■「取扱説明書」等をお読みになった後は、当該製品をお使いになる方がいつでも読むことができるところに、必ず保管してください。

■「取扱説明書」等は、お使いになっている当該製品を譲渡されたり貸与される場合には、必ず新しく所有者となられる方が安全で正しい使い方を知るために、製品本体の目立つところに添付してください。

■この「安全上のご注意」に掲載しています危険・警告・注意はすべての場合を網羅していません。カタログ、取扱説明書をよく読んで常に安全を第一に考えてください。

⚠危 険

●下記の用途に使用しないでください。
1.人命および身体の維持、管理等に関わる医療器具
2.人の移動や搬送を目的とする機構、機械装置
3.機械装置の重要保安部品
当該製品は、高度な安全性を必要とする用途に向けて企画、設計されていません。人命を損なう可能性があります。

●発火物、引火物等の危険物が存在する場所で使用 しないでください。当該製品は防爆形ではありません。発火、引火の可能性があります。

●製品を取り付ける際には、必ず確実な保持、固定（ワークを含む）を行なってください。製品の転倒、落下、異常作動等によって、ケガをする可能性があります。

●製品は絶対に改造しないでください。異常作動によるケガの原因になります。

●製品の基本構造や性能・機能に関わる不適切な分解組立、修理は行なわないでください。ケガなどの原因になります。

●製品の作動中は、所定の操作以外は手を触れたり身体を近付けたりしないでください。また、作動中の製品に内蔵または付帯する機構（配管チューブや封止プラグの離脱、製品の取付位置調節等）の調節作業を行なわないでください。
製品の落下、異常作動によって、ケガをする可能性があります。

⚠警 告

●当社製品は多様な条件下で使用されるため、そのシステムの適合性の決定は、システム設計の責任者が十分に評価した上で行なってください。
システムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した設計者の責任になります。最新のカタログ、技術資料により、仕様の内容を充分に検討評価し、機器の故障の可能性について考慮していただき、フェイルセーフ等の安全性・信頼性を確保したシステムを構成してください。

●製品の仕様範囲外では使用しないでください。仕様範囲外で使用されますと、製品の故障、機能停止や破損の原因となります。また著しい寿命の低下を招きます。

●製品にエアを供給する前および作動させる前には、必ず機器の作動範囲の安全確認を行なってください。不用意にエアを供給すると、作動部との接触によりケガをする可能性があります。

●製品は火中に投じないでください。製品が破裂したり、有毒ガスが発生する可能性があります。

●製品の上に乗ったり、足場にしたり、物を置かないでください。転落事故、製品の転倒、落下によるケガ、製品の破損、損傷による誤作動、暴走等の原因になります。

●製品に関わる保守点検、整備、または交換等の各種作業は、必ずエアとの接続を完全に遮断して、製品および製品が接続されている配管内の圧力が大気圧になったことを確認してから行なってください。特にコンプレッサとエアストレージタンクには、圧力が残留していますので注意してください。
配管内に圧力が残留していると、アクチュエータが不意に動くなどして、ケガをする可能性があります。

●非常停止、停電などシステムの異常時に、機械が停止する場合、装置の破損・人身事故などが発生しないよう、安全回路あるいは装置の設計をしてください。

●製品の配管は「カタログ」等で確認しながら正しく行なってください。誤った配管をしますとアクチュエータ等の異常作動の原因になります。

●低頻度（30日超える）での使用は、摺動部に固着現象が発生する可能性があり、機器に作動の遅れや急激な動きを引き起こしケガの可能性があります。最低作動頻度として30日に1回は試し作動をして正常な動きを確認してください。

●海浜直射日光下や水銀燈付近などやオゾンの発生する装置近くで使用しないでください。オゾンによるゴム部品の劣化で性能・機能の低下や機能停止の原因になります。

●仕様表に示す流体以外は使用しないでください。仕様外の流体を使用すると短期間での機能停止、急激な性能低下もしくは寿命の低下を招きます。

● 48時間以上の作動休止および保管後の初回作動時には、摺動部に固着現象が発生する可能性があり、機器に作動の遅れや急激な動きを引き起こします。初回作動時には試し作動をして正常な動きを確認してからご使用ください。

●直射日光（紫外線）のあたる場所、高温多湿の場所、塵埃、塩分、鉄粉のある場所、使用流体および雰囲気中に有機溶剤、リン酸エステル系作動油、亜硫酸ガス、塩素ガス、酸類等の腐食性流体が含まれている時は、使用しないでください。短期間での機能停止、急激な性能低下もしくは寿命の低下を招きます。なお材質については各主要部材質を参照してください。

●周囲に熱源があり、輻射熱を受ける場所では使用しないでください。

⚠ 注 意

- 製品の取付けには、作業スペースの確保をお願いします。作業スペースの確保がされないと日常点検や、メンテナンスなどができなくなり装置の停止や製品の破損につながります。
- 製品の上に乗ったり、足場にしたり、物を置くことにより本体への傷、打痕、変形を与えないでください。製品の破損、損傷による作動停止や性能低下の原因となります。
- 据付・調整等作業する場合は、不意にエアが入らぬよう作業中の表示をしてください。不意にエア源が入ると突然の作動によりケガをする可能性があります。
- 露点温度がマイナス20度を超える乾燥空気を使用する場合は、使用潤滑油の質が変化する可能性があります。性能の低下や機能停止等の原因になります。

⚠ お願い

- 「カタログ」、「取扱説明書」等に記載のない条件や環境での使用、および航空施設、燃焼装置、娯楽機械、安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途への使用をご検討の場合は、定格、性能に対し余裕を持った使い方やフェイルセーフ等の安全対策に十分な配慮をしてください。尚、必ず弊社営業担当までご相談ください。
- 製品の配管は「カタログ」等で確認しながら行なってください。
- 機械装置等の作動部分は、人体が直接触れる事がないよう防護カバー等で隔離してください。
- 停電時にワークが落下するような制御を構成しないでください。機械装置の停電時や非常停止時における、ワーク等の落下防止制御を構築してください。
- 製品を扱う場合は、必要に応じて保護手袋、保護メガネ、安全靴等を着用して安全を確保してください。
- 製品が使用不能、または不要になった場合は、産業廃棄物として適切な廃棄処理を行なってください。
- 空気圧機器は寿命による性能・機能の低下があります。空気圧機器は日常点検を実施し、システム上必要な機能を満たしていることを確認して未然に事故を防いでください。
- 製品に関しての、お問い合わせは、最寄りの弊社営業所または技術サービスセンターにお願いいたします。住所と電話番号はカタログの巻末に表示してあります。

⚠ その他

- 下記の事項を必ずお守りください。
  1. 当該製品を使用して空気圧システムを組む場合は弊社の純正部品または適合品（推奨品）を使用すること。
     保守整備等を行なう場合、弊社純正部品、または適合品（推奨品）を使用すること。
     所定の手段・方法を守ること。
  2. 製品の基本構造や性能・機能に関わる、不適切な分解組立は行なわないこと。

安全上のご注意全般についてお守りいただけない場合は、弊社は一切の責任を負えません。

保証および免責事項

1. 保証期間
弊社製品についての保証期間は、製品納入後12ヵ月以内です。

2. 保証の範囲および免責事項

（1）弊社製品の保証は製品単体の保証です。弊社および正規販売店・代理店で購入された製品が、保証期間内に弊社の責により故障が生じた場合には、無償修理もしくは無償交換をいたします。また保証期間内であっても、製品には作動回数など耐久性を定めているものがありますので、最寄りの弊社営業所または技術サービスセンターにご確認ください。

（2）弊社製品の故障および機能低下、性能低下により誘発された損害、もしくはそれに起因した他の機器の損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。

（3）弊社カタログおよび、取扱説明書に記載されている製品仕様の範囲を超えた使用や保管、および取付、据付、調整、保守等の注意事項に記載された以外の行為がされた場合の損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。

（4）弊社の責任以外での火災や、天災、第三者による行為、お客様の故意または、過失等により弊社製品が故障した場合の損害に関しては、弊社は一切責任を負いません。

一般注意事項

1. 配管する前に、必ず配管内のフラッシング（圧縮空気の吹き流し）を十分行なってください。
   配管作業中に発生した切屑やシールテープ、錆などが混入すると、性能・機能の低下や機能停止の原因となります。
2. 使用流体および雰囲気に下記のような物質が含まれている時は、使用できません。
   有機溶剤・リン酸エステル系作動油・亜硫酸ガス・塩素ガス・フロンガス・オゾン・酸類・その他腐食性ガス。
3. ボウル部の材質はポリカーボネートです。上記のガス、液体、およびねじロック剤、漏れ検知液、熱水等の雰囲気または付着する場所、または紫外線が直接照射される場所での使用はできません。詳細につきましては、❽ページの参考資料をご覧ください。
4. 水滴、油滴などがかかる場所や粉塵が多い場所で使用する時は、カバーなどで保護してください。
5. 製品仕様を超える量の水分を流さないでください。 水滴が2次側へ飛散する場合があります。 詳しくは❿ページの分離特性をご覧ください。
6. 製品本体内部に結露、結霜が生じた場合、露（霜）が2次側に飛散する場合があります。

使用流体・使用環境

●使用流体

1. 供給流体は清浄空気（40μm以下のフィルタを使用のこと）を使用してください。清浄空気以外の使用を検討する場合は、 必ず最寄りの弊社営業所または技術サービスセンターへご相談ください。
2. 油分または固形物が混入する空気は使用できません。

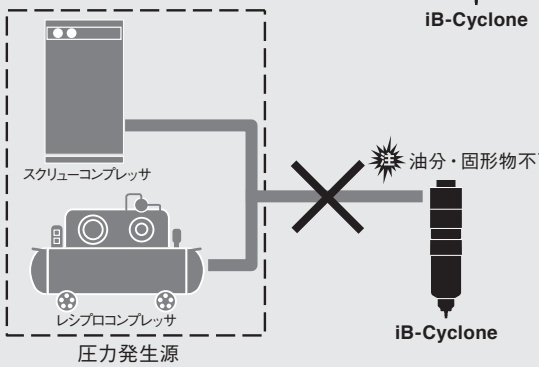
注 油分または固形物が混入した空気を使用すると、短期間で製品の機能が停止したり、 製品の性能・寿命が低下したりする原因になります。

取付・配管

⚠ 注 意　必ず油分・固形物を取り除いたエアで使用してください。

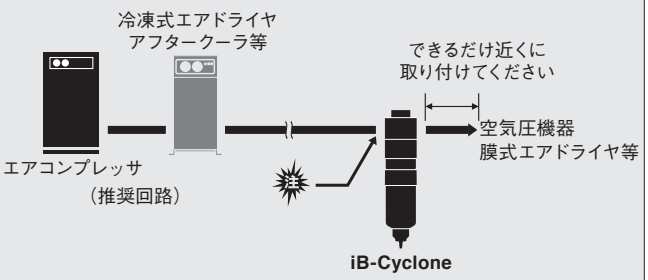
注 油分・固形物不可！

例：圧力発生源への直接取付けは不可



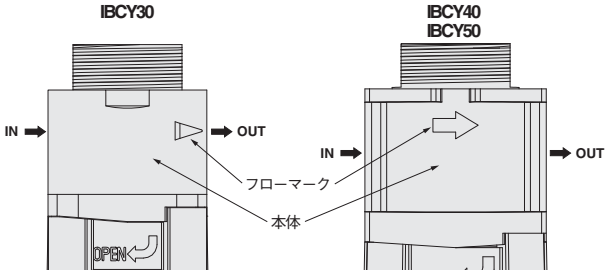
注 使用する場合は、油分・固形物の対策を十分に行なってください。
対策を行なわないと、機器の性能が著しく低下し、エア漏れ、作動不良となります。

⚠ 注 意　iB-Cycloneで除湿はできません。



注
1. iB-Cycloneは、水分除去のための製品です。圧縮空気中に含まれた水蒸気は除去できません（除湿できません）。除湿が必要な場合には、2次側に膜式エアドライヤ等をご使用ください。
2. iB-Cycloneの2次側で配管内に結露が生じないよう、導入するエアは、冷凍式エアドライヤ、アフタークーラ等を介して、周囲温度より低くしてください。また、使用する空気圧機器のできるだけ近くに取り付けてください。

1. 供給空気および周囲温度が60℃以下のところに設置してください。
2. 配管接続部を上、ドレン排出口を下にして、鉛直に取り付けてください。
3. ガードボタンの回転スペース、ボウルの取外しスペース等、各種メンテナンスが容易にできるようにスペースをとってください。
4. ブラケットを取り付ける場合は、取付リングを3.0N·m以下で締め付けてください。
5. 製品に表示してある矢印（フローマーク）の向きにエアが流れるように配管してください。逆向きに流すと十分な水分除去機能が発揮できません。



6. 製品に配管荷重、および過度のトルクがかからないようにしてください。配管を締め付ける場合には、本体を保持して、下表の推奨締付トルクで締め付けてください。

推奨締付トルク　N·m

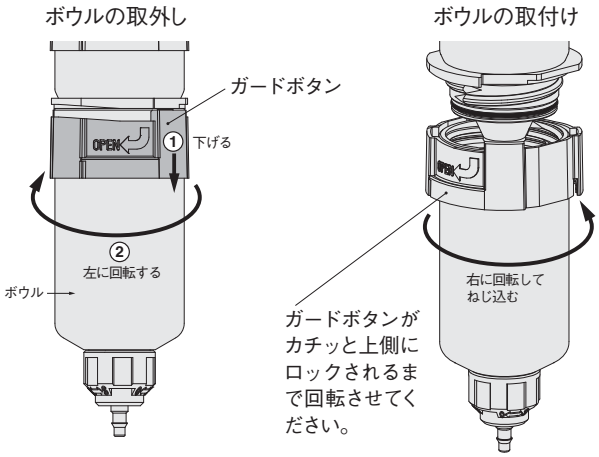
接続ねじ	1/8	1/4	3/8	1/2
トルク	7～9	12～14	22～24	28～30

7. 鋼管配管などの柔軟性がない配管は、配管側から大きなモーメント荷重や振動の伝播を受け易いので、フレキシブルチューブなどを介在させて、それらの影響を受けないようにしてください。

●定期的なメンテナンス

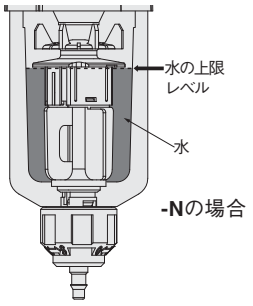
ボウル

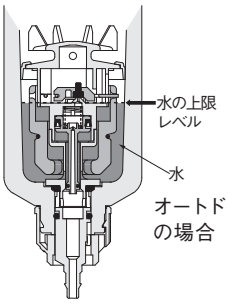
1. ボウル部（透明樹脂部分）のクラック、傷、その他の劣化を検出するために定期的な点検を行なってください。
2. クラックや傷、その他の劣化が認められた場合には、破壊の原因になりますので、新しいボウルに交換してください。ボウルの注文形式につきましては❾ページをご覧ください。
3. ボウルの汚れや透明度が低下した場合も新しいボウルに交換してください。洗浄する場合には、希釈した家庭用中性洗剤で洗浄し、洗浄後に洗剤を水で洗い流してください。
4. ボウルの取外しおよび取付けは、下図のように行なってください（製品内の圧力を必ず抜いてから作業してください）。

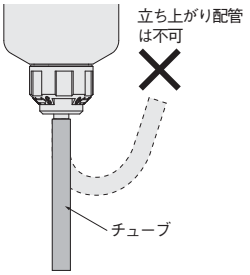


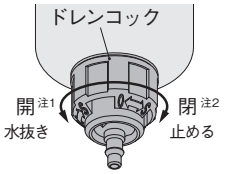
ドレンコック

1. 水の量が下図左の状態より多量になると、水分除去機能が大幅に低下します。水の量が下図左の状態になる前に必ず水抜きを行なってください。ドレンコックの操作は手で行なってください。
2. ドレンコックには内径φ4のチューブを接続することができます。接続する時はドレンコックが閉まっている（ロックされている）ことを確認してから行なってください。チューブは継手付近で極端に曲げたりこじったりしないでください。継手部が横荷重によって破損する恐れがあります。また、立ち上がり配管は避け、配管は5m以下としてください。
3. オートドレン式をご使用の場合、1次側に溜まった水が一気に流れ込み、下図右の上限レベルを超えると作動不良に至りますので、上限レベルを超えないように注意してください。









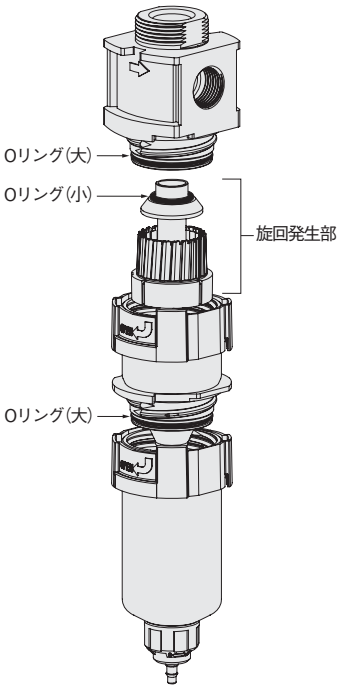
注：継手に接続するチューブの切断面は直角に切断し、図のようにしっかり奥まで差し込んでください。また、装着後、軽く引いて抜けないことを確認してください。

注1：ドレンコックを開けるとき、閉めた状態から100°以上開けないでください。ドレンコックが破損する恐れがあります。

2：ドレンコックを閉める時には、カクッとロックされるまでしっかり回転させてください。

旋回発生部

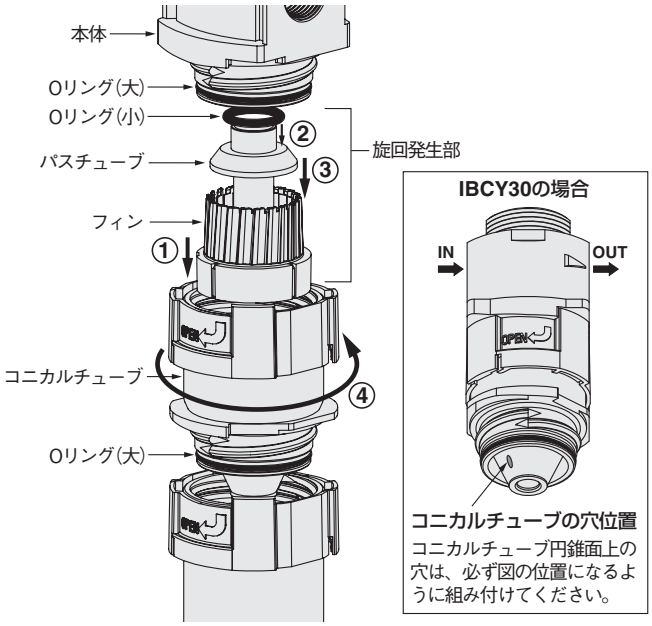
1. 旋回発生部にゴミのつまり等が生じると分離機能が低下します。その場合は、下図のように分解し、洗浄、除去してください（製品内の圧力を必ず抜いてから作業してください）。
2. 旋回発生部の再組立の際は、「シールキット」をご用意の上、新しいOリングを使用してください。 シールキットの注文形式につきましては❾ページをご覧ください。



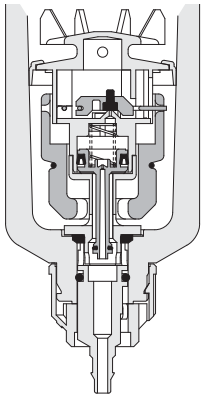
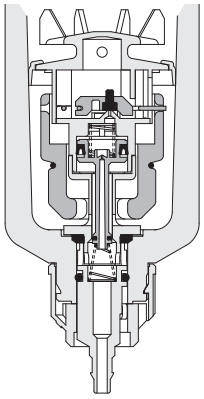
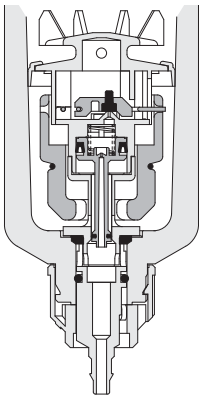
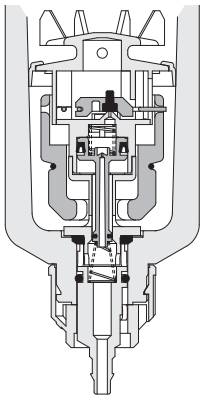
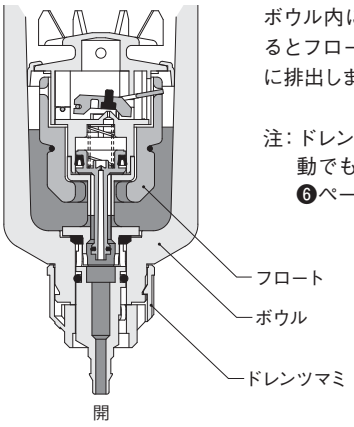
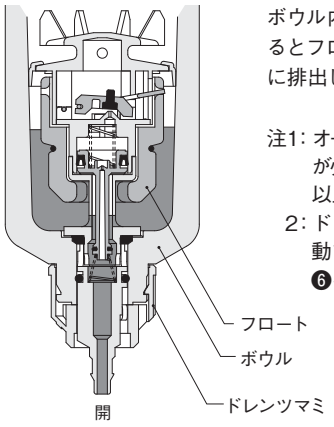
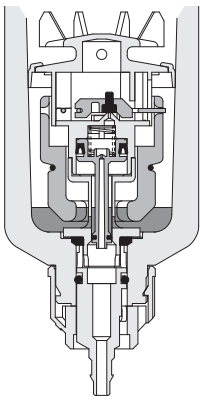
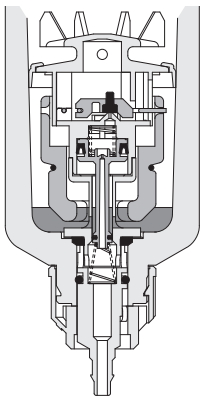
組立方法

再組立は以下の手順で行なってください。

① フィンをコニカルチューブに挿入し、手で押し込んでください。
② パスチューブに新しいOリング（小）を取り付けます。
③ フィンにパスチューブを装着します（フィンの座にすわるように装着してください）。
④ Oリング（大）2ヵ所も交換し、コニカルチューブと本体を組み付けてください。



●オートドレン式の作動説明

状態＼タイプ	NOタイプ	NCタイプ
無加圧時	 開 無加圧時は水排出部が開放状態になっているので、水は自然排出されます。	 閉 無加圧時も水排出部が閉状態なので、水は排出されません。 注：無加圧時に水を排出しませんので、無加圧(低圧)時でも水が多く出る箇所では、手動による水排出が必要な場合があります。
加圧時	 閉 最低作動圧(0.15MPa)以上の圧力が充填されるまでは、水排出部からエアと共に水が一時的に排出されます。最低作動圧以上の圧力が充填された後、エアと水は止まります。 注：最低作動圧以上の圧力に昇圧されるまではエアの排気があるため、吐出流量の小さなコンプレッサでは圧力の充填がされない場合があります。	 閉 無加圧時と同じく、水排出部は閉状態なので水は排出されません。
水排出時	 開 ボウル内に水が一定高さまで溜まるとフロートが上がり、水を自動的に排出します。 注：ドレンツマミを左に回せば、手動でも排出できます。詳細は、❻ページをご覧ください。	 開 ボウル内に水が一定高さまで溜まるとフロートが上がり、水を自動的に排出します。 注1：オートドレンの作動には、供給圧が必要です。供給圧は0.15MPa以上を確保してください。 2：ドレンツマミを左に回せば、手動でも排出できます。詳細は、❻ページをご覧ください。
水排出終了時	 閉 水が排出されるとフロートが下がり、水排出部は閉状態となり水の排出が止まります。	 閉 水が排出されるとフロートが下がり、水排出部は閉状態となり水の排出が止まります。

参考資料

●ポリカーボネートの耐薬品性について

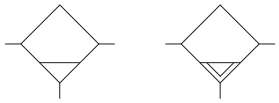
下表に示す薬品は、ポリカーボネートを劣化させます。そのためボウルが破損して事故の原因になる場合があります。
下表の薬品が圧縮空気や、雰囲気中に含まれる場合や、薬品が付着する場所では使用できません。
なお、下表以外の薬品ついてもすべて耐薬品性があるわけではありません。

種類	分類	薬品名	使途例
無機化合物	酸	塩酸、硫酸、硝酸、フッ素、りん酸、クロム酸	金属の酸洗い油、酸性脱脂液、皮膜処理液
	アルカリ	カ性ソーダ、カ性カリ、消石灰、アンモニア水、炭酸ソーダ	金属アルカリ性脱脂液
	無機塩類	硫化ソーダ、硝酸カリ、重クロム酸カリ、硝酸ソーダ	染料、防錆剤
有機化合物	芳香族炭化水素	ベンゼン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン	塗料シンナー（ベンゼン、トルエン、キシレン）
	塩素化脂肪族炭化水素	塩化メチル、塩化エチレン、塩化メチレン、塩化アセチレン、クロロホルム、トリクレン、バークレン、四塩化炭素	有機溶剤系金属洗浄剤（トリクレン、バークレン、四塩化炭素）
	塩素化芳香族炭化水素	クロロベンゼン、ジクロロベンゼン、六塩化ベンゼン（BHC）	農薬
	石油成分	ソルベント、ナフサ、ガソリン	燃料
	アルコール	メチルアルコール、エチルアルコール、シクロヘキサノール、ベンジルアルコール	凍結防止剤
	フェノール	石炭酸、クレゾール、ナフトール	消毒液
	エーテル	メチルエーテル、メチルエチルエーテル、エチルエーテル	ブレーキ油添加剤、洗剤
	ケトン	アセトン、メチルエチルケトン、シクロヘキサン、アセトフェノン	クリーニング液
	カルボン酸	ギ酸、酢酸、ブチル酸、アクリル酸、シュウ酸、フタル酸	染色材、アルミ処理剤（シュウ酸）、塗料の基材（フタル酸）
	フタル酸エステル	フタル酸ジメチル（DMP）、フタル酸ジエチル（DEP）、フタル酸ジブチル（DBP）、フタル酸ジオクチル（DOP）	潤滑油、合成作動油、防錆油の添加剤、合成樹脂の可塑剤
	オキシ酸	グリコール酸、乳酸、リンゴ酸、クエン酸、酒石酸	食品防腐剤、酸味料
	ニトロ化合物	ニトロメタン、ニトロエタン、ニトロエチレン、ニトロベンゼン	塗料溶剤、爆薬
	アミン	メチルアミン、ジオクチルアミン、エチルアミン、アリニン、アセトアニリド	ブレーキ油添加剤
	ニトリル	アセトニトリル、アクリロニトリル、ベンズニトリル	ニトリルゴムの材料

iB-Cyclone

IBCY30・IBCY40・IBCY50

表示記号



オートドレン式

仕様

項目 ＼ 形式		IBCY30	IBCY40	IBCY50
使用流体		空気（油分・固形物を含まない空気）		
配管接続口径	Rc	1/8、1/4	1/8、1/4、3/8	1/4、3/8、1/2
最高使用圧力	MPa	1.0		
保証耐圧力	MPa	1.5		
使用温度範囲（雰囲気および使用流体）	℃	0～60		
水分分離率[注1]	%	99以上		
水滴貯容量（**-N**の場合）	mℓ	13	16	27
最大流量[注2]	ℓ/min(ANR)	850	1500	2800
主要部材質	本体	アルミ合金ダイカスト		
	ボウル	ポリカーボネート		
	ブラケット	鋼板（無電解ニッケルめっき）		
質量（標準品・最大配管接続口径の場合）	kg	0.15	0.20	0.30
オプション		ブラケット		

注1：弊社測定条件による。
2：印加圧力0.5MPaの環境下で、0.1MPa圧力降下時(最大配管接続口径)の最大流量です。選定する場合には⑩ページの各種特性グラフをご確認ください。

注文記号

IBCY □ − □ − □ − □

□（本体形式）
30 iB-Cyclone
40 iB-Cyclone
50 iB-Cyclone

□（配管接続口径）

本体形式	Rc1/8	Rc1/4	Rc3/8	Rc1/2
30	**01**	**02**		
40	**01**	**02**	**03**	
50		**02**	**03**	**04**

□（ドレンコック仕様）
A ——オートドレン式ドレンコックNOタイプ
C ——オートドレン式ドレンコックNCタイプ
N ——継手付ドレンコック

□（ブラケット）
無記入 ——ブラケットなし
B ——ブラケット付

●ブラケットのみの注文記号

8Z-CBK
※各ボディサイズ共通

●メンテナンス用部品

●ボウルアセンブリ

BA-IBCY□-□

□（ボディサイズ）
30 ——**IBCY30**用
40 ——**IBCY40**用
50 ——**IBCY50**用

□（ドレンコック仕様）
A ——オートドレン式ドレンコックNOタイプ
C ——オートドレン式ドレンコックNCタイプ
N ——継手付ドレンコック

※ボディサイズが同じであれば、ボウルアセンブリを購入して別のドレンコック仕様に変更することも可能です。

オートドレン式

継手付

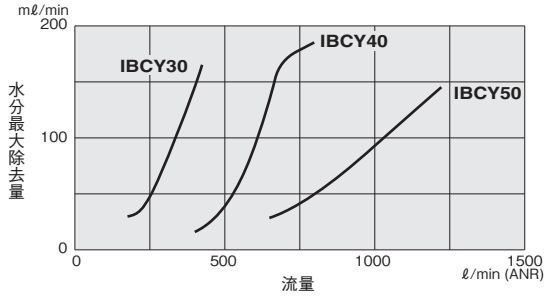
●シールキット（Oリング（大）2個、Oリング（小）1個）

SRK-IBCY□

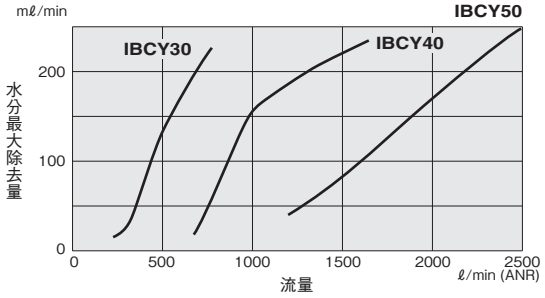
□（ボディサイズ）
30 ——**IBCY30**用
40 ——**IBCY40**用
50 ——**IBCY50**用

分離特性

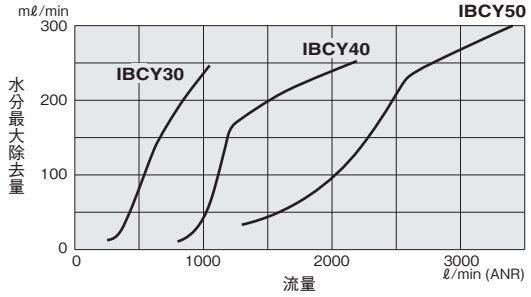
●0.1MPaの場合



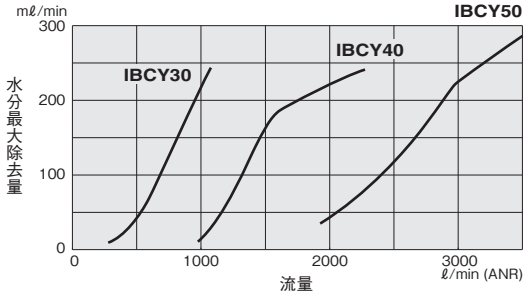
●0.3MPaの場合



●0.5MPaの場合



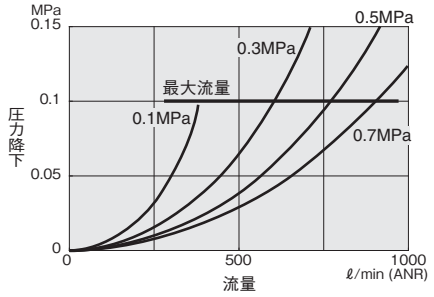
●0.7MPaの場合



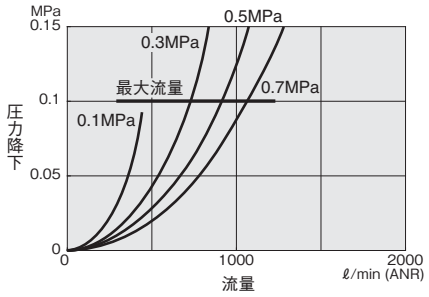
注：各処理空気流量に対する水分最大除去量は、使用条件により異なります（当グラフにより保証するものではありません）。選定時の目安として使用してください。

流量特性

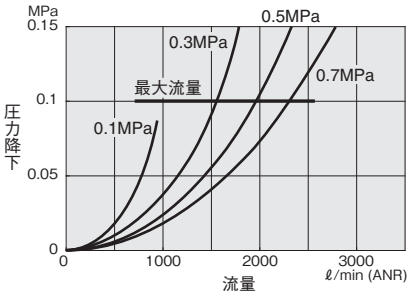
IBCY30-01



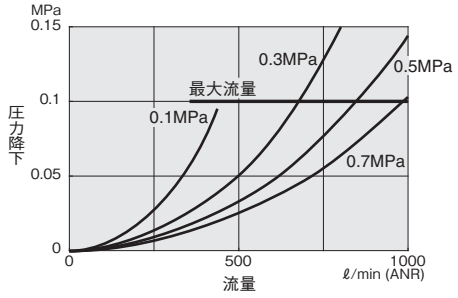
IBCY40-01



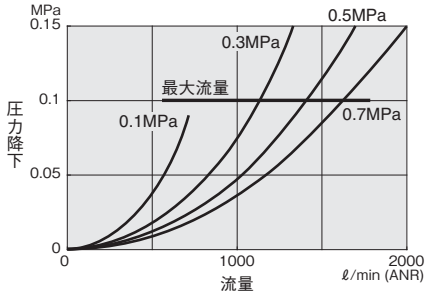
IBCY50-02



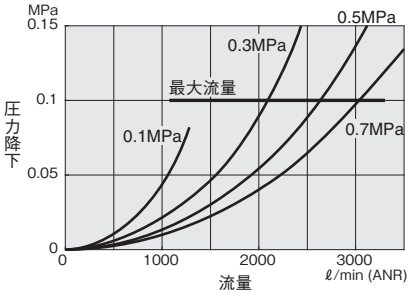
IBCY30-02



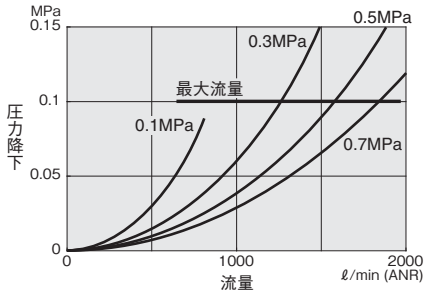
IBCY40-02



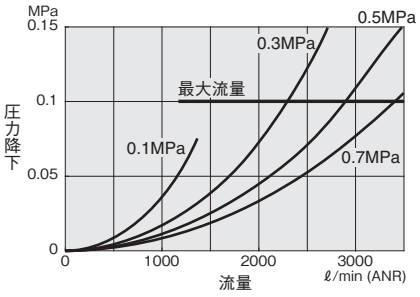
IBCY50-03



IBCY40-03

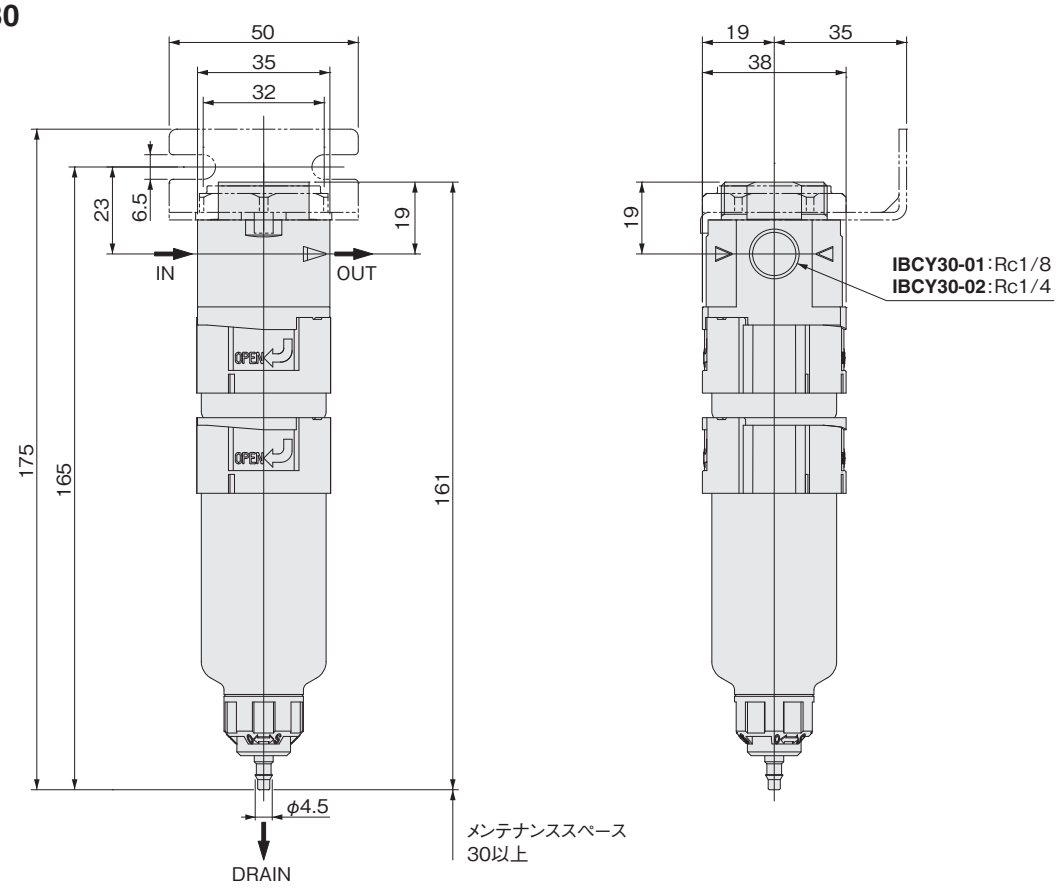


IBCY50-04

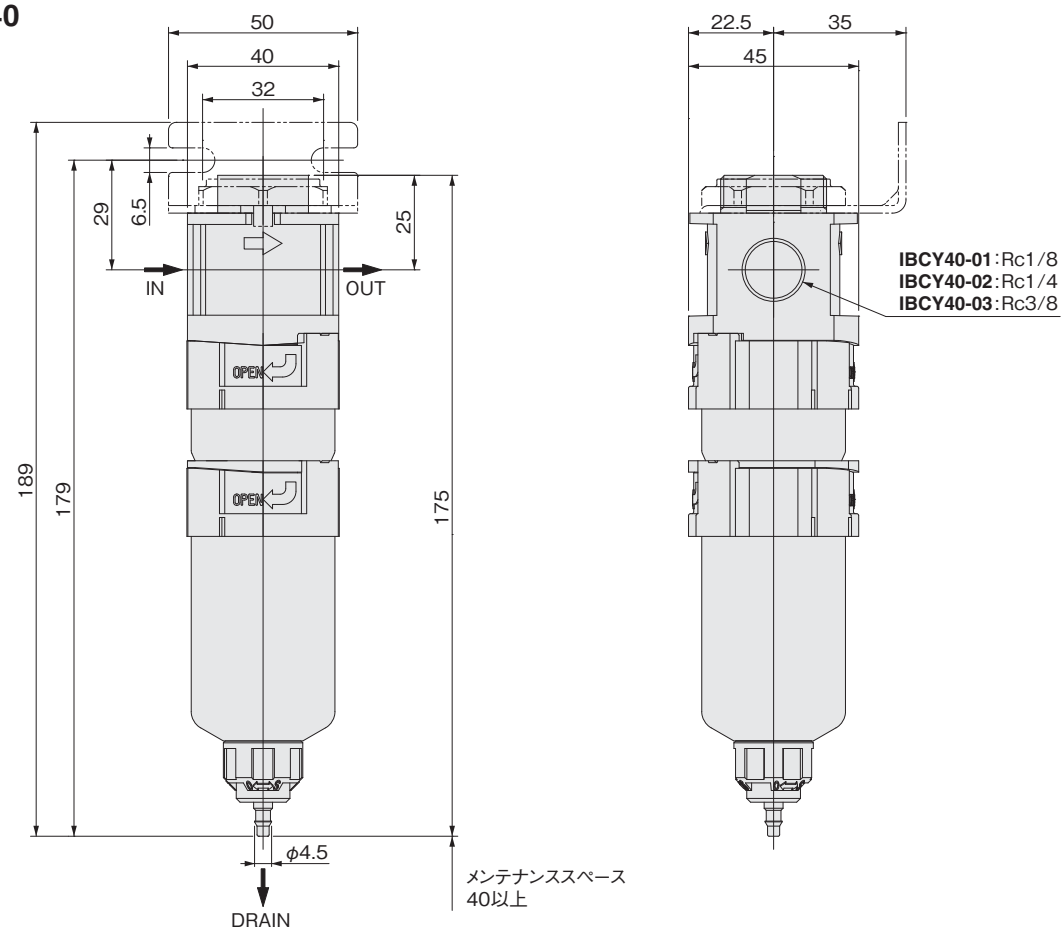


寸法図 (mm)

●IBCY30

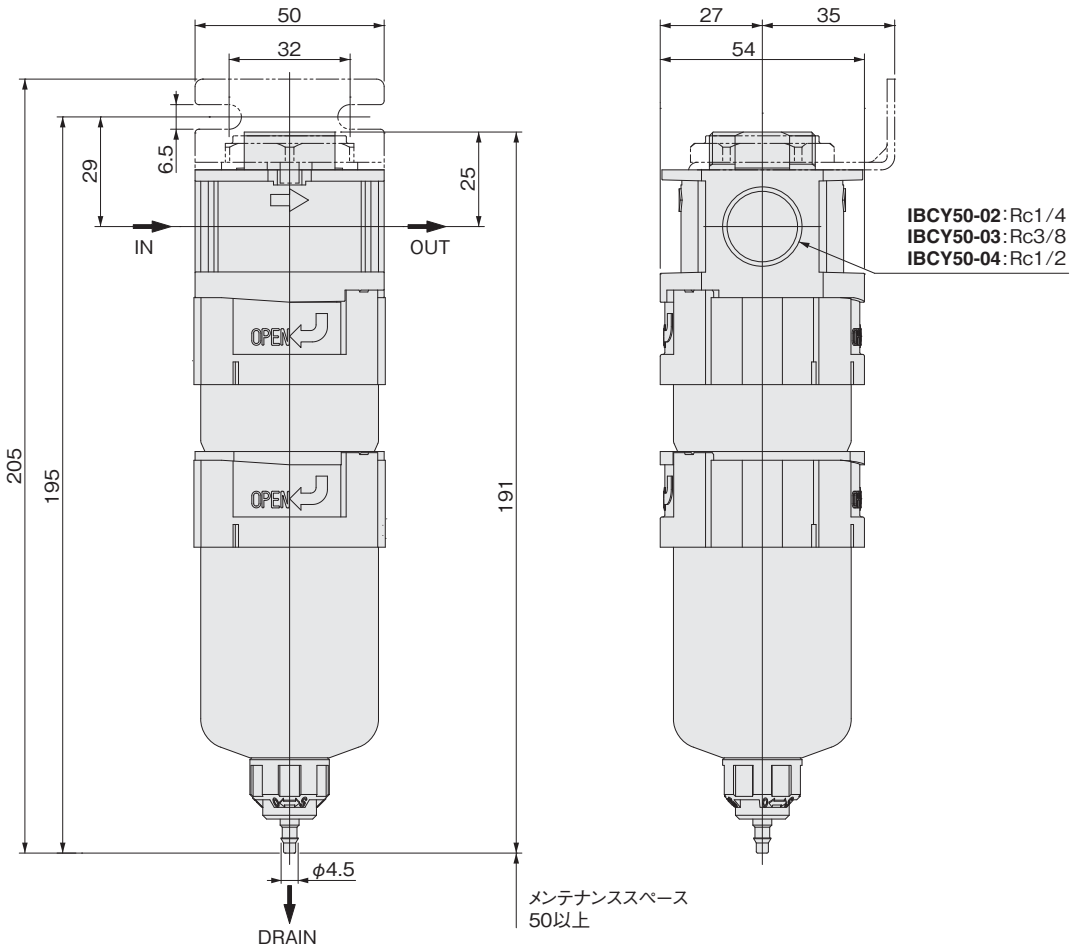


●IBCY40



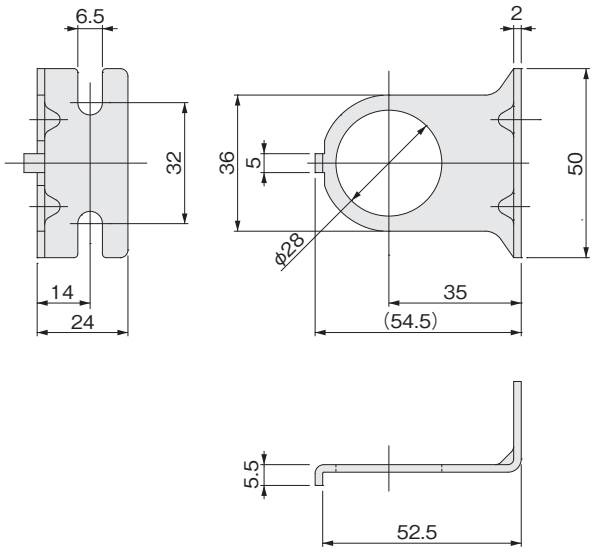
寸法図 (mm)

●IBCY50

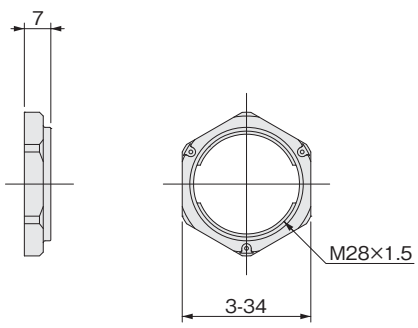


●8Z-CBK

ブラケット



取付リング



Memo

株式会社コガネイ

□本社　□営業本部　□海外営業部
184-8533 東京都小金井市緑町 3-11-28

□仙台営業所　984-0015 仙台市若林区卸町1-6-15　卸町セントラルビル4F
TEL〈022〉232-0441　FAX〈022〉232-0062

□山形営業所　990-0828 山形市双葉町2-4-38　双葉中央ビル2F
TEL〈023〉643-1751　FAX〈023〉643-1752

□群馬出張所　372-0812 群馬県伊勢崎市連取町3082-1　シルクタウンE号室
TEL〈0270〉40-7651　FAX〈0270〉40-6733

□茨城出張所　300-1207 茨城県牛久市ひたち野東1-29-2　プログレス壱番館102
TEL〈029〉830-7076　FAX〈029〉830-7077

□千葉出張所　273-0103 千葉県鎌ヶ谷市丸山2-12-56　竹浪ビル2F
TEL〈047〉441-6557　FAX〈047〉441-2715

□東京営業所　105-0023 東京都港区芝浦1-8-4　エムジー芝浦3F
TEL〈03〉6436-5481　FAX〈03〉6436-5491

□西東京営業所　207-0021 東京都東大和市立野4-473-1　春日ビル2F
TEL〈042〉590-8031　FAX〈042〉590-8034

□北関東営業所　331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町3-527-1　第二シマ企画ビル5F
TEL〈048〉662-6951　FAX〈048〉662-7606

□南関東営業所　242-0001 大和市下鶴間656-1　つきみ野サウスビル3F
TEL〈046〉272-7131　FAX〈046〉278-1297

□長野営業所　399-4102 長野県駒ヶ根市飯坂2-6-1
TEL〈0265〉83-7111　FAX〈0265〉82-5535

□上田営業所　386-0023 長野県上田市中央西2-6-7　グリーンビル2F
TEL〈0268〉23-5800　FAX〈0268〉23-6520

□長岡出張所　940-0061 新潟県長岡市城内町3-5-1　レーベン長岡205
TEL〈0258〉31-8801　FAX〈0258〉31-8831

□金沢営業所　921-8011 石川県金沢市入江2-54　中村ビル5F
TEL〈076〉292-1193　FAX〈076〉292-1195

□静岡営業所　422-8066 静岡市駿河区泉町2-3　アズマビル4F
TEL〈054〉286-6041　FAX〈054〉286-8483

□浜松出張所　430-0917 静岡県浜松市中区中央1-3-6　浜松イーストセブン206号
TEL〈053〉459-1855　FAX〈053〉459-1857

□名古屋営業所　464-0858 名古屋市千種区千種3-25-19　第1シロキビル5F
TEL〈052〉745-3820　FAX〈052〉745-3821

□刈谷出張所　472-0026 愛知県知立市東上重原4-123　MTビル2F
TEL〈0566〉84-5336　FAX〈0566〉85-0228

□京都営業所　600-8177 京都市下京区鳥丸通五条下ル大阪町391　第10長谷ビル7F
TEL〈075〉344-8811　FAX〈075〉344-8815

□大阪営業所　532-0004 大阪市淀川区西宮原2-7-38　新大阪西浦ビル8F
TEL〈06〉6398-6131　FAX〈06〉6398-6135

□神戸営業所　650-0017 兵庫県神戸市中央区楠町6-2-4　ハーバースカイビル7F
TEL〈078〉371-0511　FAX〈078〉371-0510

□広島営業所　730-0805 広島市中区十日市町2-1-31　沖田ビル4F
TEL〈082〉291-1531　FAX〈082〉291-1418

□福岡営業所　812-0011 福岡市博多区博多駅前2-19-29　博多相互ビル4F
TEL〈092〉411-5526　FAX〈092〉451-2895

□熊本営業所　862-0913 熊本県熊本市尾ノ上2-3-3-3
TEL〈096〉383-7171　FAX〈096〉383-7172

駐在所　□札幌　□郡山　□岡山　□松山　□徳島

□海外営業部　184-8533 東京都小金井市緑町3-11-28
TEL〈042〉383-7271　FAX〈042〉383-7276
○KOGANEI International America, Inc.（アメリカ）
○上海小金井国際貿易（中国）
○KOGANEI-ASIA PTE. LTD.（シンガポール）
○KOGANEI-KOREA CO.,LTD.（韓国）
○KOGANEI-PORNCHAI CO.,LTD.（タイ）

テクニカルセンター　□東京（小金井）

工場　□東京（小金井）　□長野（駒ヶ根）　○九州コガネイ（都城）
○上海小金井電子（中国）　○台湾小金井（台湾）
○コガネイベトナム

流通センター　□長野（駒ヶ根）

□技術サービスセンター　184-8533 東京都小金井市緑町3-11-28
TEL〈042〉383-7172　FAX〈042〉383-7206

URL http://www.koganei.co.jp

お客様技術相談窓口
フリーダイヤル
0120-44-0944
受付時間　9:00～12:00/13:00～17:30
（土日、休日、年末年始を除く）
お気軽にお問い合わせください。

●このカタログは2012年10月現在のものです。
●記載されている仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

2012年10月1日 初版 150 KGSK ©KOGANEI CORP. PRINTED IN JAPAN